

2023 年度桐生大学・短期大学部

研究業績

著		書
論		文
学	会	発
作	品	表
そ	の	表
		他

2023 年 4 月～2024 年 3 月

1.研究業績収録内容

著書

- 1 学術専門図書
単独及び共著の執筆、執筆分担
- 2 学術専門図書監修
単独及び共著の編集・監修、編集・監修分担

論文

- 3 総説
- 4 依頼論文
- 5 原著論文
- 6 研究ノート
- 7 諸報告、症例報告、資料
- 8 査読のない報告書等(要旨集、小冊子、雑誌は含まない)

学会発表

- 9 シンポジウム
- 10 国際学会
- 11 国内学会

その他

- 12 受賞
- 13 研究的資金獲得状況
- 14 みどりキャンパス学術交流会
- 15 学内講演会
- 16 地域連携、社会貢献
- 17 一般図書 執筆、編集、観衆
- 18 新聞・雑誌等
- 19 作品発表
- 20 その他

2. 論文等の表記方法

著書(一般図書含む)

・著書(単独)の場合

著者名、タイトル、出版社、西暦

・著書の分担の場合

分担者名、分担タイトル、執筆(編集)者名、書名、出版社、担当部分、西暦

・論文

著者名(掲載順に記載)、タイトル、雑誌名 巻番号: ページ番号, 西暦

・シンポジウム・学会等の発表

発表者名(掲載順に記載)、タイトル、発表学会名、開催地、西暦

・本学所属学科教員の氏名を太字(下線付)で記載

・著者名が複数の場合には, 半角カンマ+半角スペースを間に挟んで順次記載

・著者が 15 名を超える業績の場合, 最初の 10 名の氏名を列記し,

著者 A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, . . . 本学教員 (xx 名中 xx 番目), et al.
のように記載

・雑誌名は略記せず, イタリック体で表記、学会名は省略せず第〇〇回〇〇学会と
記載

○は、PubMed(英文)及び J-STAGE(和文)への掲載が確認されたもの

3. 掲載順

・項目毎に 国際誌、和文論文の順

・筆頭著者が本学教員のものを先に配置

・同一カテゴリの場合には職位を優先し, さらに同一職位の場合には 50 音順で
配置

・筆頭著者でない場合には, 何番目の著者であるかを確認し, より上位の業績から
配置

看護学科

著書

(学術専門図書 (分担))

松原直樹,

第6章社会保障制度の体系 生活保護制度及び社会手当制度

川村匡由 編著 安部雅仁 伊藤新一郎 河谷はるみ 倉田康路 坂本毅啓 佐橋克彦 島津淳 久本貴志 松原直樹, 福祉ライブラリー 三訂・社会保障, 建帛社, 2024

論文

(原著論文)

○松原 直樹,

表現活動を抑圧するための訴訟とその対策～スラップ訴訟の現状

桐生大学紀要 34: 19-28, 2023

DOI:10.34506/bku.34.0_19

黒田梨絵, 太田正則, 清水真紀, 関戸弘道, 深澤敏男

山間地域の地域災害支援病院における多職種合同トリアージ訓練の実態と今後の課題

労働科学 99:17-26, 2023

○小林 幹紘, 津村 明美, 益子 直紀, 遠山 義人, 脇口 優希, 岩崎 多津代, 藤巻 郁朗, 橋本 理恵子, 松沼 晶子

AYA 世代がん患者・経験者のピアサポートに関する文献レビュー

日本がん看護学会誌(Web) 37: 14-24, 2023

DOI:10.18906/jjscn.37_14_kobayashi

(研究ノート)

○櫻井加奈、森越美香

助産師教育用テキストからみた精神疾患合併妊娠に対する内容の変化

桐生大学紀要 34: 29-36, 2023

DOI:10.34506/bku.34.0_29

(諸報告)

○久保田隆子 黒岩あゆみ 櫻井加奈

母性看護学実習の施設ごとの学びの可視化

桐生大学紀要 34: 49-53, 2023

DOI:10.34506/bku.34.0_49

松原直樹

消滅する自治体の問題と社会保障について

専修総合科学研究 32: 3-6, 2023

田中光子, 武井直樹, 高橋紀子

社会福祉派遣講師事業報告一児童の高齢者生地体験教室を通して一

桐生大学教育年報 7:17-24 2024

学会発表

(国内学会)

久保田隆子

助産学生の分娩介助実習到達度評価の状態と課題

第 37 回 日本助産学会, 東京, 2023 年 10 月

久保田隆子

母性看護学実習の施設別学習状況の可視化

第 22 回 日本母子看護学会, 東京, 2023 年 8 月

黒田梨絵, 本島茉那美

避難所における食事担当者の手指の経時的汚染状況と各種消毒剤の効果の検討

第 82 回 日本公衆衛生学会総会, 茨城, 2023

黒田梨絵

避難所における生活環境の経時的汚染状況と住民による清掃効果の検討

第 29 回 日本災害医学会総会・学術集会, 京都, 2024

本島茉那美, 黒田梨絵

避難所での宿泊訓練におけるストレス値の変化に関する検討

第 82 回 日本公衆衛生学会総会, 茨城, 2023

榎 七翔、岡田 颯太、長島 拓人、煙山 健仁、池田 英俊、堀 雅和、李 虎奎

圧迫・せん断力発生時の毛細血管血流挙動観察装置の開発

日本機械学会 北陸信越支部 2024 年合同講演会, 富山, 2024

前野 瑠世、村山 倅都、長島 拓人、煙山 健仁、池田 英俊、堀 雅和、李 虎奎

足漕ぎ電動アシスト 4 輪型移動支援機器の開発 ― 定量的な身体的負担の評価手法の試み ―

日本機械学会 北陸信越支部 2024 年合同講演会, 富山, 2024

朝倉美保、吉田佳子、尾内恭子、相場澄枝、櫻井通恵

がん専門病院の看護師と看護補助者の協働への取り組み 第一報 ～看護師と看護補助者の業務の認識調査(看護師に着目して)～

第 61 回全国自治体病院学会 in 北海道, 北海道, 2023

尾内恭子、吉田佳子、朝倉美保、相場澄枝、櫻井通恵

がん専門病院の看護師と看護補助者の協働への取り組み 第二報 ～看護師と看護補助者の協働に対する認識調査を実施して～

第 61 回全国自治体病院学会 in 北海道, 北海道, 2023

相場澄枝、吉田佳子、尾内恭子、朝倉美保、櫻井通恵

がん専門病院の看護師と看護補助者の協働への取り組み 第三報～業務連携に対する認識から得られた協働への課題～

第 61 回全国自治体病院学会 in 北海道, 北海道, 2023

競争的資金獲得状況

佐藤 光栄(代表)

遷延性意識障害患者への看護介入内容と効果の測定から客観的・定量的評価指標の確立
日本学術振興会基盤研究(C)2019～2023 年

間戸 美恵(代表)

心の健康問題をもつ若者における地域保健と学校保健の連携により支援システムの構築
日本学術振興会基盤研究(C)2023～2026 年度

佐藤 光栄(分担)

産後うつ病を妊娠中に推測する指標開発と発症防止介入の検証
日本学術振興会基盤研究(C)2022～2024 年度

山科 章 (分担)

指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究
厚生労働行政推進調査事業費補助金 2021～2023 年度

第 4 回 みどりキャンパス学術交流会 2024 年 3 月桐生大学

久保田隆子, 殿岡千恵
子授け習俗の一考察

久保田隆子

助産師教育内容とミニマム・リクワイアメンツの検討

佐藤光栄, 甲州 優, 小山田路子, 杉本昌弘

通所介護参加の軽度認知症高齢者への音楽療法の効果測定 唾液 IgA, 認知症尺度を用いた評価

長谷川真美, 櫻井通恵, 柿谷絵理, 三木園生

看護学科新カリキュラムにおける基礎看護学実習Ⅰの位置づけを考える

長谷川真美, 北爪明子, 煙山建仁

実践報告:看護学科令和 5 年度新カリキュラム新規科目「スタートアップセミナー」を実施して

マチャコン ヘッチェル

ChatGPT in Education 教育における ChatGPT の利用 Current status and Challenges 現状と課題

片野吉子, 及川澄人, 北爪明子, 増田さゆり, 橋爪博幸, 大日向基子, 橘 陽子, 木村優子, 武井直樹, 須藤侑加子, 市根井千乃, 熊倉可菜, 阿部康弘, 伯田藍子, 佐俣智彦

桐生大学・桐生大学短期大学部とむかわ町との相互協力協定における活動報告

黒田梨絵, 服部麻未, 北爪明子

急性期実習における学内での臨地実習代替実習プログラムの構築と課題

田中光子, 武井直樹, 高橋紀子

社会福祉派遣講師事業報告 一児童の高齢者疑似体験教室一

風間順子

地域在住高齢者における主観的 QOL に影響をおよぼすレジリエンスおよび互助活動とその関連

櫻井加奈, 田村菜美

A 病院における母乳育児支援と母乳率向上への試み

服部麻未, 黒田梨絵, 北爪明子

急性期実習に向けた看護過程演習の学修方法の検討と課題

地域連携

松沼晶子

ぐんまの安心がんサポートブック P.95

群馬県健康福祉部保健予防課がん対策推進室

栄養学科

学術専門図書

(分担)

川上 智史, 産業衛生

松木 秀明 編, よくわかる 専門基礎講座公衆衛生 2024 年版 第 15 版, 金原出版株式会社:329~354, 2024

学術論文

(原著論文)

○ 小林葉子

緑色蛍光タンパク質を発現する大腸菌 BL21(DE3) における タンパク質発現に用いる培地の影響

桐生大学紀要 34: 1-10, 2023

DOI:10.34506/bku.34.0_1

Igari N, Ninomiya R, Kawakami S.

Effects of Dietary Bacillus natto Productive Protein on the Skin: In Vitro Efficacy Test and Single-Armed Trial, *Cosmetics*10, 135, 2023

○ 新保みさ、和田安代、島田美樹子、上岡洋晴

妊娠のために活動している「妊活者」における健康食品・サプリメントの摂取目的—妊娠の確率を上げるために摂取している者の特徴—

栄養学雑誌 81(5): 219-227, 2023

DOI:10.5264/eiyogakuzashi.81.219

○ Iwasaka C, Nanri H, Nakagata T, Ohno H, Tanisawa K, Konishi K, Murakami H, Hosomi K, Park J, Yamada Y, Ono R, Mizuguchi K, Kunisawa J, Miyachi M.

Association between physical activity and the prevalence of tumorigenic bacteria in the gut microbiota of Japanese adults: a cross-sectional study,

Scientific reports 13, 20841, 2023

DOI: 10.1038/s41598-023-47442-9.

○ Iwasaka C, Nanri H, Nakagata T, Ohno H, Tanisawa K, Konishi K, Murakami H, Hosomi K, Park J, Yamada Y, Ono R, Mizuguchi K, Kunisawa J, Miyachi M.

Association of skeletal muscle function, quantity, and quality with gut microbiota in Japanese adults: A cross-sectional study.

Geriatrics & gerontology international 24(1):53-60, 2023

DOI: 10.1111/ggi.14751

○ Kamioka H, Origasa H, Tsutani K, Kitayuguchi J, Yoshizaki T, Shimada M, Wada Y and Takano-Ohmuro H.

A Cross-Sectional Study Based on Forty Systematic Reviews of Foods with Function Claims (FFC) in Japan: Quality Assessment Using AMSTAR 2,

Nutrients 15(9): 2047, 2023

DOI: 10.3390/nu15092047

○ Yamada Y, Yoshida T, Murakami H, Gando Y, Kawakami R, Ohno H, Tanisawa K, Konishi K, Tripette J, Kondo E, Nakagata T, Nanri H, Miyachi M.

Body cell mass to fat-free mass ratio and extra-to-intracellular water ratio are related to maximal oxygen uptake.

The journals of gerontology. Series A 78(10):1778-1784, 2023

DOI: 10.1093/gerona/glad140

○ Park J, Bushita H, Nakano A, Hara A, Ueno HM, Ozato N, Hosomi K, Kawashima H, Chen YA, Mohsen A, Ohno H, Konishi K, Tanisawa K, Nanri H, Murakami H, Miyachi M, Kunisawa J, Mizuguchi K, Araki M. , Ramen Consumption and Gut Microbiota Diversity in Japanese Women: Cross-Sectional Data from the NEXIS Cohort Study. *Microorganisms* 11(8):1892, 2023
DOI: 10.3390/microorganisms11081892

(諸報告・症例報告)

○榮昭博, 石北未来, 井桁千恵子
 α -グルコシダーゼ活性およびリパーゼ活性に及ぼすヤマトイモ(ナガイモ)水溶性画分およびエタノール抽出画分添加の影響
桐生大学紀要第 34: 45-48, 2024
DOI:10.34506/bku.34.0_45

Kawakami S, Tanaka Y, Usui M, Iida S, Shirakawa T and Fukuzawa Y.
Ginkgo Biloba Extract Containing Plasmalogen May Improve Brain Function Decline Including Brain Fog,
Mega Journal of Case Reports 7(2): 2001-2012, 2024

○川上智史
白金パラジウムは NK 細胞を活性化させ、軽度潰瘍性大腸炎の炎症反応を抑制する可能性:パイロットスタディー ～バイオマーカーと関連させて～
桐生大学紀要 34:37-44, 2023
DOI:10.34506/bku.34.0_37

○須藤侑加子、市根井千乃、二宮佑輔、橘陽子、島田美樹子
近隣地域の小学生を対象とした『キッズクッキングスクール』の実施
桐生大学紀要 34: 59, 2023
DOI:10.34506/bku.34.0_59

鹿山未優、大山珠美、中島君恵、石井広二
栄養士養成課程学生の食事アセスメントスキル向上のための検討 ―自己の食事記録解析から―
桐生大学教職課程年報 7:25-34, 2024

学会発表

(特別講演)

川上智史,

ブレインフォグのメカニズムと今後の戦略～COVID-19 と環境化学物質の両面から～,
国際未来医療臨床医学会発足記念シンポジウム, 京都, 2023

川上智史

ブレインフォグの病態とその戦略

日本オーソモレキュラー医学会・国際栄養医学シンポジウム 2023, 横浜, 2023

川上智史,

間質性肺炎と新しい治療法の開発

NPO 法人日本統合医学健康増進会, 東京, 2023

(国内学会)

小林葉子

大腸菌のタンパク質発現に及ぼす培地中の糖及びアミノ酸の影響,

第 77 回日本栄養・食糧学会, 北海道, 2023

川上智史, 白川太郎, 福沢嘉孝, 臼井雅明, 飯田重寿, 田中 善,

イチヨウ葉エキス含有プラズマローゼンは睡眠の質を改善させる～ブレインフォグと関連させて～

日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会, 神奈川, 2023

稲葉大輔, 佐藤勉, 寺山隼人, 川上智史, 菊池憲次, 堀田国元, 吉川敏一.

QLFTM による高純度次亜塩素酸水の口腔保健効果評価モデルの検討 第1報:QLFTM による舌苔の解析

第 25 回日本口腔機能水学会学術大会, 京都, 2024

第4回 みどりキャンパス学術交流会 2024年3月 桐生大学

小林葉子

定説を覆す大発見！？と思いきや…。「みどりに光る大腸菌」から、試薬を疑うことの大切さを知る。

川上智史

白金・パラジウムによる *Porphyromonas gingivalis* に対する影響
～歯周病を起因とするアルツハイマー型認知症に関連させて～

市根井千乃、權田真以、八田里菜、二宮佑輔、島山光、石井広二、荒井勝己、田口和人、島田美樹子、橘陽子、齋藤陽子、須藤侑加子、大山珠美

栄養学科における初年次導入科目の教育効果-早期体験合同実習から-

二宮佑輔

ビタミンE同族体 δ トコトリエノールの短期摂取における血中動態と脂質代謝の変動

石北未来 井桁千恵子 榮 昭博

α -グルコシダーゼ活性およびリパーゼ活性に及ぼすヤマトイモ（ナガイモ）水溶性画分およびエタノール抽出画分添加の影響

片野吉子，及川澄人，北爪明子，増田さゆり，橋爪博幸，大日向基子，橘 陽子，木村優子，武井直樹，須藤侑加子，市根井千乃，熊倉可菜，阿部康弘，伯田藍子，佐俣智彦

桐生大学・桐生大学短期大学部とむかわ町との相互協力協定における活動報告

地域連携・社会貢献活動

石井広二，橘陽子，島山光

令和4年度県民健康・栄養調査 食事分析報告書

群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課，2024

一般図書

(執筆・分担)

島田 美樹子, クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2023-24 第 20 版, 株式会社メディックメディア:958, 983-984, 2023

橘 陽子, クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説 2023-24 第 20 版, 株式会社メディックメディア: 正解・解説 問題 82, 問題 84, 問題 85, 問題 88, 問題 92, 問題 149, P.938-940, 943, 969, 2023

関谷果林, クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説 2024 第 20 版, 株式会社メディックメディア:153,155,157,971-9973, 2023

(監修・分担)

橘 陽子, レビューブック管理栄養士 2023-24 第 6 版, 株式会社メディックメディア, 第 6 版: 656-663, 2023

新聞雑誌等

荒井勝巳

上毛新聞月刊紙“元気+らいふ” 2023 年掲載

元気+食材「もっと知りたい」 ヨーグルト 4,5 月号

元気+食材「もっと知りたい」 赤ジソ 6,7 月号

川上智史

(株)いちばん社 健康365 2023 年掲載

黒プラチナは活性酸素除去作用が持続する抗酸化物質で COPD・間質性肺炎の論文を発表 7 月号:116-121

黒プラチナは免疫向上・恒常性維持作用がある抗酸化物質で COPD・間質性肺炎の論文を発表 8 月号:33-37

黒プラチナで間質性肺炎の指標「KL-6」の数値が改善！余命を告げられた患者も回復,

9月号: 64-67

黒プラチナは活性酸素除去・免疫向上・恒常性維持作用に優れた世界唯一の抗酸化物質,

9月号:68-69

黒プラチナは COPD(肺気腫)にも有効と論文で発表！息切れ・呼吸苦の改善報告も多数,9月号:70-71

黒プラチナは四種類の活性酸素を除去する抗酸化物質で COPD・間質性肺炎の論文を発表 10月号:116-122

黒プラチナで間質性肺炎の指標「KL-6」の数値が改善！余命を告げられた患者も回復, 11月号:86-89

黒プラチナは活性酸素除去・免疫向上・恒常性維持作用に優れた世界唯一の抗酸化物質, 11月号:90-92

黒プラチナは COPD(肺気腫)にも論文で発表！息切れ・呼吸苦の改善報告も多数, 11月号:93-95

黒プラチナは免疫向上・恒常性維持作用を備えた抗酸化物質で COPD・間質性肺炎の論文が話題 12月号:21-23

黒プラチナで間質性肺炎の指標「KL-6」の数値が改善！余命を告げられた患者も回復, 1月号:64-67

黒プラチナは活性酸素除去・免疫向上・恒常性維持を發揮する世界唯一の抗酸化物質と確認, 1月号: 68-70, 2023年11月

黒プラチナは COPD(肺気腫)にも有効と論文で発表！息切れ・呼吸苦の改善報告も続出 1月号: 71-73

黒プラチナは免疫向上・恒常性維持作用も備えた抗酸化物質で COPD・間質性肺炎の論文を発表 2月号: 91-9

黒プラチナは間質性肺炎の救世主！医療機関との研究で患者の六割が改善と判明 3月号: 62-67

黒プラチナは活性酸素除去・免疫調整・恒常性維持作用に優れた世界唯一の抗酸化物質, 3月号: 68-70

黒プラチナは COPD(肺気腫)にも有効と論文で発表！息切れ・呼吸苦の改善報告も多数, 3月号: 71-73

黒プラチナは間質性肺炎の救世主！医療機関との研究で患者の六割が改善と判明, 4月号: 42-47

黒プラチナは活性酸素除去・免疫向上・恒常性維持作用に優れた世界唯一の抗酸化物質, 4月号: 48-50

黒プラチナは COPD(肺気腫)にも有効と論文で発表！息切れ・呼吸苦の改善報告も多数, 4月号: 51-53

全身病の COPD は肺気腫と呼ばれた呼吸器疾患で黒プラチナが有効と論文で発表, 5 月号: 76-78

黒プラチナは活性酸素除去・免疫調整・恒常性維持作用を発揮する世界唯一の抗酸化物質, 5 月号: 79-81

黒プラチナは間質性肺炎にも有効！医療機関との研究で患者の六割が改善と判明, 5 月号: 82-87

別科 助産専攻

論文

(原著論文)

○ Koga Y, Iwata N,
Job satisfaction of Japanese midwives in the Tokyo metropolitan area.
European Journal of Midwifery 7: 15, 2023
DOI: 10.18332/ejm/167388

学科発表

(国内学会)

古賀裕子

PAC(Personal Attitude Construct)分析による産科混合病棟勤務助産師の想い,
第 64 回日本母性衛生学会学術集会, 大阪, 2023 年 10 月

宮下藍莉, 古賀裕子

分娩介助実習における実習指導についての文献研究
第 64 回日本母性衛生学会学術集会, 大阪, 2023 年 10 月

みどりキャンパス学術交流会 2024 年 3 月 桐生大学

木村 優子

助産学実習の現状報告

古賀裕子 江幡芳江

産科混合病棟勤務助産師のジレンマ

片野吉子, 及川澄人, 北爪明子, 増田さゆり, 橋爪博幸, 大日向基子, 橘陽子, 木村優子,
武井直樹, 須藤侑加子, 市根井千乃, 熊倉可菜, 阿部康弘, 伯田藍子, 佐俣智彦
桐生大学・桐生大学短期大学部とむかわ町との相互協力協定における活動報告

短期大学部 生活科学科

学術専門書

(執筆分担)

清野隼

第 24 章 エネルギー補給と栄養

Duncan N. French, Lorena Torres Ronda 編 NSCA ジャパン, 日本語版総監修
柴田 真志／監修 小林 秀紹, NSCA スポーツ科学の基礎知識, 特定非営利活動法人
NSCA ジャパン, pp.427-443, 2023

論文

(依頼原稿)

清野隼

一流を目指す小児アスリート 筋肉づくりとたんぱく質補給,
臨床スポーツ医学 41: 284-288, 2024

(原著論文)

小川 智瑞恵

キャリア教育と道德教育のめざすもの

武蔵野美術大学教職課程高橋陽一研究室『造形と教育』18:91-96, 2024 小川 智瑞恵,
ジェンダー平等実現のために一人権とケアの観点から—
桐生大学教職課程年報 7:61-74, 2024 年 3 月

中島君恵

職業調理における熟練度が身体応答に与える影響
東京家政学院大学紀要 63: 135-138, 2023

大家まゆみ, 小川智瑞恵

障害者の就労と生活を支援するための「特別支援教育」のカリキュラム・デザイン—キリスト教主義大学の行事との連携の視点から—

東京女子大学 教職・学芸員課程研究 4:11-20, 2024

橋爪 博幸

クモの巣をヒントに描かれた宇宙の条理図

『熊楠ワークス』61号, P.17-22, 2023年4月

橋爪 博幸

シーボルトミミズと南方熊楠

『くろしお』南紀生物同好会:1-4, 2023

(研究ノート)

橋爪 博幸,

特別活動と果樹栽培—学校敷地内でキウイフルーツの生産活動は可能か—

桐生大学教職課程年報 7:51-59, 2024

○清野 隼, 坪山 義明, 内藤 裕志, 高橋 義雄

わが国の高等学校におけるeスポーツ活動の実態とeスポーツ部活動の設立に向けた課題

スポーツ産業学研究 33(3):3_201-3_214, 2023

DOI:10.5997/sposun.33.3_201

○清野 隼, 田丸 尚稔, 高橋 義雄

全国トップレベルの競技力を有する高等学校硬式野球部と駅伝部に求められる指導者像:

所属する生徒へのフォーカスグループインタビューを基に,

体育学研究 68:191-208, 2023

DOI:10.5432/jjpehss.22068

○Enatsu N, Seino J, Tsuji T, Ogata M.
Effectiveness of Sports Nutrition Education Based on Self-Determination Theory for Male University Rowing Athletes: A Randomized Controlled Trial,
Nutrients 16(6):799, 2024
DOI: 10.3390/nu16060799

○大塚 祥子, 清野 隼, 大柴 由紀, 尾縣 貢
我が国のトップスポーツにおけるスポーツファーマシストのあり方
体育学研究 68:377-393, 2023
DOI:10.5432/jjpehss.22103

(諸報告)

鹿山未優, 大山珠美, 中島君恵, 石井広二
栄養士養成課程学生の食事アセスメントスキル向上のための検討—自己の食事記録解析から—
桐生大学教職課程年報 7:25-34 2024

○榮昭博, 石北未来, 井桁千恵子
 α -グルコシダーゼ活性およびリパーゼ活性に及ぼすヤマトイモ(ナガイモ)水溶性画分およびエタノール抽出画分添加の影響
桐生大学紀要第 34: 45-48, 2024
DOI:10.34506/bku.34.0_45

(その他, 報告書等)

小川 智瑞恵
20 世紀前半の世界宣教会議と日本の宗教教育思想 —エキュメニカル運動の日本への影響に着目して—
博士論文(東京大学), 2024

橋爪 博幸
鳥飼否宇『異界』の紹介記事, 『南方熊楠の生物曼荼羅:生きとし生けるものへの視線』志村真幸編, 三弥井書店, 310-311, 2024

高橋義雄, 清野隼, 坪山義明, 権田真太郎

わが国の高等学校における e スポーツ部活動の教育的意義ー活動している生徒に対する
フォーカスグループインタビューを基にー(調査報告書)
特定非営利活動法人北米教育 e スポーツ連盟, 2023

学会発表

(国際学会)

Sato T, Nakajima M, Takeishi Y, Nakajima K, Hasegawa M, Watanabe E.
Effect of the body composition for three months intervention of soy
milk.
the 45th ESPEN Congress 2023, Lyon, 2023
Abstract: *Clinical Nutrition ESPEN* 58 424e750 (2023)
DOI:10.1016/j.clnesp.2023.09.911

(国内学会)

清野隼, 木越清信, 田島尚教, 箕田哲也, 市川将, 高橋義雄
競技部活動生に対する自己調整学習に基づいた教育プログラムの実践ー全国トップレベル
の硬式野球部を対象とした事例報告ー
日本コーチング学会 第 35 回学会大会, 岐阜, 2024

清野隼, 坪山義明, 権田真太郎, 高橋義雄
わが国の高等学校における e スポーツ部活動の教育的意義 ー活動している生徒に対す
るフォーカスグループインタビューを基にー
日本スポーツ産業学会 第 32 回大会, 山梨, 2023

井桁 千恵子, 鈴木 はる江, 藤田 益伸, 森田 理仁
栄養士施設の学生が抱える校外実習のストレスとその改善に関する考察
人間総合科学大学大学院 研究発表会 (第38回心身健康科学学術集会 同時開催),
2024

馬明真梨子, 清野隼,

自己調整学習に基づく栄養サポートの成果評価—質的記述的データの分析を基に—, 第31回広島県栄養改善学会, 広島, 2024

山上はるか, 清野隼

除脂肪体重増量を目的としたスポーツ栄養マネジメント—オフシーズン期のプロ野球選手を対象に—

日本スポーツ栄養学会第9回大会, 滋賀, 2023

馬明真梨子, 清野隼

目標設定シートと体調管理アプリ、個別面談を併用した高校ラグビー部への栄養サポート事例—自らコンディションを考え、実践する力の育成を目指して—

日本スポーツ栄養学会第9回大会, 滋賀, 2023

吉本寛那, 牧野講平, 清野隼,

男性エリート柔道選手の国際大会前日計量後から試合までにおける、回復時栄養素摂取量の症例, 日本スポーツ栄養学会第9回大会, 滋賀, 2023年9月

第4回 みどりキャンパス学術交流会 2024年3月 桐生大学

橋爪 博幸

自然界に発生する奇妙な音

—南方熊楠と寺田寅彦の「音響」に関する記述の紹介—

中島君恵

保育園給食施設における調理作業の作業分析

清野隼, 木越清信, 田島尚教, 箕田哲也, 市川将, 高橋義雄

競技部活動生に対する自己調整学習に基づいた教育プログラムの実践—全国トップレベルの硬式野球部を対象とした事例報告—

石北未来 井桁千恵子 榮 昭博

α -グルコシダーゼ活性およびリパーゼ活性に及ぼすヤマトイモ（ナガイモ）水溶性画分およびエタノール抽出画分添加の影響

熊倉 可菜

産後うつをめぐる社会の認識がどのように広がってきたか

片野吉子, 及川澄人, 北爪明子, 増田さゆり, 橋爪博幸, 大日向基子, 橘陽子, 木村優子,
武井直樹, 須藤侑加子, 市根井千乃, 熊倉可菜, 阿部康弘, 伯田藍子, 佐俣智彦
桐生大学・桐生大学短期大学部とむかわ町との相互協力協定における活動報告

アート・デザイン学科

学術論文

佐野 広章, 特集「それぞれの現場」

専門分野の学びの幅を広げる版画表現, 版画学会 52:12-14, 2024

柳沢 顕

美術・デザイン教育における「協働的な馬奈木」の実践研究

桐生大学教職課程年報 7:35-50 2024

第4回 みどりキャンパス学術交流会 2024年3月 桐生大学

片野吉子, 及川澄人, 北爪明子, 増田さゆり, 橋爪博幸, 大日向基子, 橘陽子, 木村優子,
武井直樹, 須藤侑加子, 市根井千乃, 熊倉可菜, 阿部康弘, 伯田藍子, 佐俣智彦
桐生大学・桐生大学短期大学部とむかわ町との相互協力協定における活動報告

展示会

小松原洋生,

第73回モダンアート展,

東京都美術館, 2023年4月

小松原洋生

モダンアート協会群馬支部展「群馬のモダンアート 2023」,

高崎シティギャラリー, 2023年10月

寺村サチコ

Gallery5610 東京都表参道

テキスタイル・ミニアチュール展 8 百花百響, 2023年7月

寺村サチコ

別所温泉芸術祭-zero-2 長野県上田町
南條旅館,2023年 9 月

寺村サチコ

上毛芸術線 JOMO ART LINE 群馬県桐生市
Kirika,2023 年 10 月

寺村サチコ

神奈川県立大船フラワーセンター 神奈川県大船市
寺村サチコ個展「ゆりかごに棲むVI」,2023 年 12 月

寺村サチコ

京都芸術大学ギャラリーオーブ 京都府左京区
ファイバーアート、サイコー 2024 年 2 月

柏木優希

柏木優希個展-水性木版画とインスタレーション-
PENSEE GALLERY, 2023 年 9 月 22 日(金)~24 日(日)、28 日(木)

柏木優希

connected, 第 66 回 CWAJ 現代版画展,
一般社団法人 CWAJ, 2023 年 3 月 19 日(日)~ 3 月 28 日

柏木優希

remind sideB #9,「たからもの for おくりもの 2024」
BIOME, 2024 年 2 月 17 日(日)-3 月 3 日(日)

及川 澄人

2023 年度授業フィールドワーク
北海道むかわ町グループ, 2024 年 3 月”

桐生大学アート・デザイン学科研究室展

2024 年 2 月 28 日～4 月 11 日

及川 澄人

(家具)「WHITE CABINET」

小松原 洋生

CG・デジタルプリント

佐野 広章

木版画・ミクストメディア

松村 誠一

リトグラフ

大日向 基子

Performance

柏木 優希

木版画・レーザーカット

RGBW 4ppi, recognize, Ad invasion.

野村 亜希

ミクストメディア